

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－27

学校名・団体名	須賀川市立第一小学校
HPアドレス	http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=139
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	大震災を乗り越える 私たちの須賀川一小
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校は、東日本大震災により校舎及び校地が被災し、同じ市内の第二小学校(1年生～3年生)と第一中学校(4年生～6年生)の一部を当初借用して授業を行っていた。2011年2学期より現在の仮設校舎が完成し、ようやく全校生が一つの校舎に集って学習することができるようになった。</p> <p>震災前までは、高学年で本校の歴史について調べ学習を行うことで、学校への愛校心を高める上で成果が上がっていた。しかし、震災で廊下に掲示していた歴史パネルや資料などが一部消失してしまった。今年度、元の場所に新校舎が完成する見通しが立ち、これまで途絶えていた本校についての歴史学習を根底から企画、立案、調査、まとめ、発表する学習をとおして、愛校心をはじめ、自分の生まれ育った地域を誇りに思う児童を育てていきたいと考えた。</p>	

1 活動時期および内容

時期	内 容	備 考
6月	新校舎について考える。	
6月	一小的の歴史について考える。	
7月	一小的の歴史を調べる方法を話し合う。	
7月	完成祝賀会までの見通しを持ち、今後の計画を立てる。	
9月	グループごとにテーマを作り、資料をもとに調べる。	
11月	外部講師を招聘し、一小的の歴史や、一小的への思いを聞き、分かったことをまとめる。	知る古会、同窓会役員、前校長等、地域の学習ボランティア
11月	グループごとに、調べたことをもとにまとめる。	
12月	発表会を行い、これまでの成果を伝える。一小的や地域への思いを交流し合う。	知る古会、同窓会役員、前校長等
12月	新しい校舎の汚れをきれいに拭き上げた。	全校生
1月	これまでの取り組みを振り返り、感想を交流し合う。	
2月	まちかど発表会	地域の方々へ向けての発表

2 成果や子どもたちへの効果

(1) 学習面・生活面

- 調査活動を通して児童同士が互いに協力する態度、コミュニケーション能力が育った。
- 聞き方が向上し、相手を思いやる心が育った。
- 発表活動を通して、文章表現力や表現力が育った。
- ボードを活用して、積極的に考えを伝えようとする態度が育ってきた。
- 地域の方々から、積極的に学ぼうとする姿勢が育った。

(2) 学校・地域への思い

- 地域の方々との交流が深まり、地域の方が本校を思う気持ちを児童が感じる事ができた。
- 卒業生である保護者に、昔の小学校の様子を取材したことにより、児童・保護者間の交流が深まり、保護者・児童双方で、学校を大切にしていきたいと思うようになった。
- 愛校心、郷土愛が高まり、地域のことをさらに調べたいという考えが出され、地元を大切にしたいという願いが子どもたちの声に聞かれるようになった。
- 地域交流館ぼたん「まちかど発表会」という形で展示したことにより、地域の方々から、直接感想を頂いたり、地域の方が家族に話した感想を伝え聞いたりしたことで、今回の取り組み(計画立案、調査、まとめ)の成果を実感するとともに、今後も、地域のためになることをしていきたいという思いが育ってきた。